

環境

地域特性に応じた生物多様性への配慮

環境アセスメント(環境影響評価)の実施

発電所などを新しく建設、増設するときは、法令等に基づき、最新の技術を駆使した環境アセスメントを実施します。周辺の自然環境や社会環境にどのような影響があるか事前に十分な調査・予測・評価を行うとともに、地域の皆さまの意見を聞き、それらを踏まえ適切な環境保全対策を講じることによって、周辺への環境影響を最小限に抑えています。

柳井発電所2号系列において、出力約50万kWの新2号機をリプレースする計画です。本計画は環境影響評価法に基づく対象事業に該当することから、高層気象観測[※]等の調査を行い、環境アセスメントを実施しています。

※発電所上空の気温、風向、風速等を観測し、煙突からの排ガスの拡散を予測・評価するために調査を実施



高層気象観測(2024年8月)

発電所運転開始後の周辺環境モニタリング

発電所運転開始後には、関係自治体と締結した環境保全協定等に基づいて、発電所周辺における大気、海域などの環境の状況をモニタリングし、関係自治体にその結果を報告するとともに公表しています。

TOPICS 北広島町との包括連携協定

当社は、2024年8月、広島県北広島町と「生物多様性の保全や森林資源活用等に係る包括連携協定」を締結しました。当社が同町に水源かん養林を維持管理していることが縁となり実現したものです。

今後、両者の協働による活動を推進し、生物多様性の保全による自然環境の維持・回復と森林資源活用による新たな価値創出、カーボンニュートラルに関する取り組み等を通して、地域の発展と持続可能な社会の実現に貢献していきます。



TOPICS 生物多様性に係る取り組み

人工リーフの設置による魚介類の生育環境の創出

島根原子力発電所3号機では、防波護岸前面の海域に人工リーフ(浅瀬)を設置することにより、水深が浅くなったことで、海底面に太陽光が届きやすくなり、クロメなどの海藻草類や魚介類の良好な繁殖・生育の場となっています。

当社は、藻場がCO₂を吸収して温室効果ガス削減につながることに着目し、Jブルークレジットの審査において、2017~2021年の5年間で15.7tのCO₂吸収量が認証され、クレジットとして取得しました。取得したクレジットは、松江市内の旅行ツアーやバスケットボールの試合などで活用されています。

■ 旅行商品

(株)日本旅行より、Jブルークレジット付の個人型旅行商品が発売。松江市・玉造温泉の公共交通機関での移動に伴うCO₂をオフセット



■ バスケットボール試合

2023年12月、男子プロバスケットボールリーグの島根サノオマジックのホームゲームが、カーボンニュートラルマッチとして開催。試合会場の電力使用に伴うCO₂をオフセット



PAC-MAN™ & ©Bandai Namco Entertainment Inc.

■ 堀川遊覧船

ぐるっと松江堀川めぐりにおける、電動遊覧船の電気使用および冬季に運航することつ船の豆炭使用に伴うCO₂をオフセット



水源かん養林の維持管理

水力発電に必要な水を継続して確保・利用するため、岡山県の吉井川・高梁川、広島県の太田川の上流に約1,500haの水源かん養林を保有し維持管理を行っています。

これらの森林は、水源かん養機能を持つほか、CO₂の吸収や土砂流出の防止、野生動植物の生息環境保護など多くの機能を有しています。

当社は、環境価値有効活用の観点から、J-クレジット(森林吸収)の取得に向けて対応を進めており、2024年6月にJ-クレジット制度の森林管理プロジェクトとして登録されました。引き続き、J-クレジット創出に向けて対応していきます。



ヒノキ人工林(岡山県苫田郡)